



## 安全な登下校のための整備を

通学路の環境整備その後の対応と対策について



**議員** 平成29年2月定例会議に質問した通学路整備の進捗状況を伺う。

**教育部長** 平成27年度から29年度までに提出された改善要望112件中、既に59か所を改善し、今後の対策予定は19か所である。

**議員** 常総工事事務所や警察の対応は比較的早い対策をしているが、市の対応が遅い事案がある。私が見て1週間までできる簡単な整備が、なぜ進まないのか。また、今後の大雪対策を伺う。

### 学校教育課長

整備については、関係課と強固な連携をもって取り組む必要があると考え、連絡を密にして強くお願いをしていく。また、大雪対策では通学路が市内全域にあるため、道路管理者だけでなく、すべての除雪は難しく、教育委員会の職員が除雪した箇所もある。今後は、地域の皆さんにも自宅前の除雪をお願いするなど、体制を整えていきたい。

### 議員

水海道有料道路の時間帯無料化で一部の通学路の安全確保や渋滞緩和がされた。しかし通学路は市内全域にあり整備を市民や児童・生徒が待っている。今後どのように進めていくのか。

### 市長

通学路の現状や地域の要望は、議員と同じ思いで受け止めており、市民の皆さんには、予算がないからできないのではなく、理由があつて順番がこうなるという説明をできるように、危険度を加味した通学路優先の明確な箇所付けの仕方を示して、予算付けをしていきたい。

### 議員

市内の通学路の安全を、市長に託す。子どもたちの安全の確保をしっかりとお願いしたい。

□ 殿 園 園 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 質 問



## 公共交通がカギ

公共交通の利用状況と今後の運営について



便性の向上に努めたい。

### 議員

社会福祉協議会の9時から4時までの受付体制が悪いのではないかと。これを改め随時受け付けるタクシー会社に委任してどうか提案する。次に広域連携による公共交通について、発足した検討会議ではどのような議論がなされているのか。

### 総務部長

広域連携による公共交通は、検討会議に参加する自治体が地域内の交通を優先的に運行させたいという意向から、なかなか連携の実現には至っていない。引き続き検討会議などで実現に向けた協議を行っていきたい。

### 議員

福祉タクシーの利用条件を拡大できないか。例えば、3人家族の65歳の方で、同居する家族2人が日中働きに行っている場合は、福祉タクシーを利用できないということになるが、病院に通う時間帯一人であることの証明を条件に認めるべきでは。

### 保健福祉部長

一人暮らしで市外の病院に行く方だけを対象としているが、高齢者の移動手段としては弱い点があるため、ご指摘の点も含め全体的に検討していきたい。

### 総務部長

デマンドタクシーの利用状況は、21年から運行し年々利用者が減ってきており、現在年間2万人を切る推移である。利用者からは、利用しにくいとの声が多いが、どのような改善策を考えているのか伺う。

### 議員

デマンドタクシーの効率的な運行の実現には個人情報を取り扱ったシステムが必要なことから、社会福祉協議会に運営を委託している。これからも利用者ニーズや社会情勢を考慮して利

坂野 茂実 議員

倉持 守 議員